



No.235

1 2

おもな内容

- 県下で交通死亡事故が多発.....②③
(昭和63年中)
- 所得税の確定申告と県・町民税の申告④⑤
- おめでとう20歳!⑦
- まちかど⑧⑨
- おしらせ⑩⑪
- 川辺の歴史(6)⑫

発行・岐阜県川辺町 ■ 編集・川辺町役場企画室 ■ 印刷・四橋印刷KK



贈与税の確定申告
(2月1日～3月15日)

百人一首
大會

1月30日に川辺中学校の1年生が百人一首大会を開きました。これは中学生になってから6回目の学年行事で、10首以上暗記することが冬休みの目標でもあり、その成果に挑戦しました。各組から2人ずつ、それぞれ4組が出て8人で1会場とし、21会場で最後まで一生懸命取り組みました。

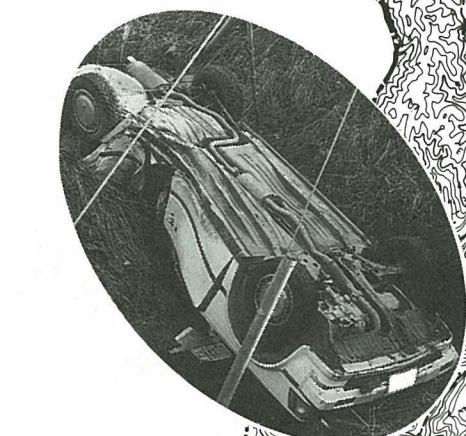
■ 人口の動き=12月末(カッコ内は前月比) 総人口10,658人(+10) 男5,235人(+4) 女5,423人(+6) 世帯数2,817戸(±0)

昭和63年中

県下で交通事故増える

川辺町では国道41号線沿いに多発

人身事故



町内の人身事故の内訳(昭和63年)

類型別	件数
追突事故	15件
横断中	4件
正面衝突	4件
出会い頭・右折時	3件
その他	4件

昭和六十三年中の交通事故による死者数は、県下で二百四人と昨年に比べ十六人の増、負傷者は一万一千九百二十九人で同四百九十三人の増となりました。特に、死亡者は五十年の年間死者数三百十三人を上回り、五十年以降では最も多い死者数となりました。これは、交通戦争といわれた昭和四十年代に記録した年間死者数二百数十人に迫り、ピーク時に向けての反転現象の強まりとみられる極めて厳しい情勢にあります。



町内の事故多発地点

ワースト3



町内の人身事故の内訳 (昭和63年)

事故発生時間帯	件数
午前7時～同10時	6件
午前10時～午後1時	3件
午後1時～同4時	7件
午後4時～同7時	4件
午後7時～同10時	9件
午後10時～午前1時	0件
午前1時～同4時	1件
午前4時～同7時	0件

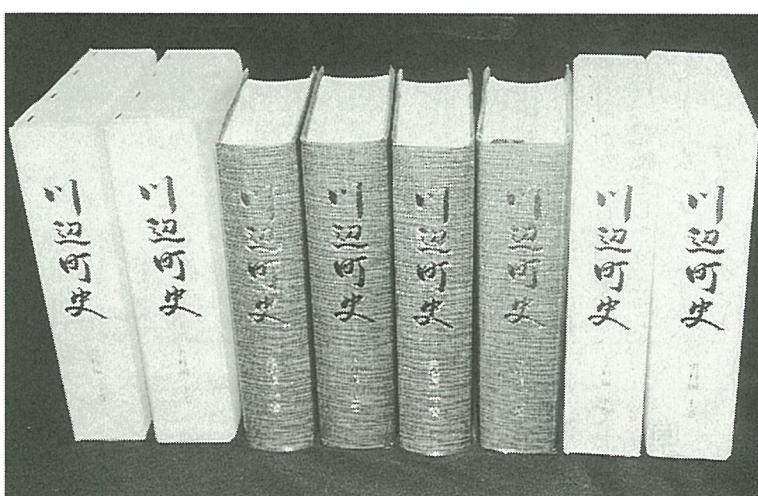
川辺町では、人身事故が三十件(前年比マイナス十三)、死亡者が四十人(同マイナス二十)、物損事故件数が増加しました。

人身事故や負傷者数が前年に比べ減少したといつても、まだ多く発生しています。昨年は、道路だけでなく鉄道事故も発生し、どこに危険が潜んでいるかわかりません。今一度、交通安全について十分に配慮して下さい。



◇美濃国村々絵図
史料編(下巻)に、別冊として添付した美濃国村々絵図が、大きな反響を呼んでいます。この絵図は、江戸時代のものをカラー版のまま複刻したもの。当時の、美濃国内の村名のすべてと、主要河川・道路・山並み、それに城郭・渡船場などが記載されています。

◇川辺町史は三部作
上・下巻の二部となりました。次いで、川辺町の古代から現代までを解説した、歴史編の発刊により、町史刊行事業は完結となります。



川辺町史3部作のうちの史料編(上・下巻) (歴史編は平成3年発刊予定)

“川辺町史”実費頒布中

美濃国絵図に高い評価

現在では入手困難な貴重な絵図ですので、大学・マスコミ関係や、図書館・個人などから多くの注文がきております。

上・下巻の二部作は、既に、史料編の内いたします。上巻を購入された方は、今回の下巻と次回発刊の歴史編の三部作をそろえられることをご案内いたします。

なお、予約制で内いたします。なお、予約制ではありませんので、お早めにどうぞ。

◇史料編下巻

領布価格

四、五〇〇円

◇頒布先

町史編さん室
(53-1457)

所得税の確定申告は正しく、お早めに

昭和六十三年分の所得税の確定申告は一月十八日から始まります。申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談できなかつたり、長時間お待ちいただくなつことになります。確定申告はお早めにお済ませ下さい。

正しい確定申告を

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている納税者が、自ら税法に従つて自分の所得と税額を正しく計算して申告し、納税するという申告納税制度を採用しています。昨年一年間の所得と税額を正しく計算し、お早めに申告と納税を行つて下さい。

確定申告をしなければならないのに期限までに申告をしなかつたり、誤った申告をしたりしますと、後で不足の税金を納めるだけではなく、不足税額の十五%または一〇%(不正な行為があつたような場合には四〇%または三五%)の割合の加算税が課され、さらに延滞税も納めなければならぬことになります。

確定申告をしなければならない場合

支内訳書の添付を

事業所得、不動産所得、山林所得(これらを事業所得等といいます)を生ずべき業務を行つている場合(青色申告書を提出する場合を除きます)は、昭和六十三年分の確定申告書を提出するとき

①事業をしている場合、不動産を収入のある場合、土地や建物を売った場合などで、昭和六十三年中の所得金額の合計額が、基準控除、配偶者控除、配偶者特

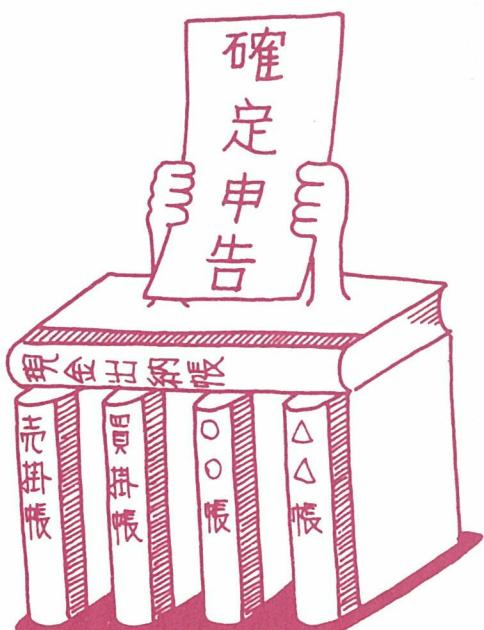
別控除、扶養控除などの所得控除の合計額を超えるとき。

②サラリーマンで、給与の年収が一千五百万円を超える場合、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二十万円を超える場合など。

なお、確定申告をする必要のないサラリーマンでも、雑損控除や医療費控除、住宅取得(等)特別控除などが受けられるときは、確定申告をすれば源泉徴収された所得税が還付されます。

また、還付を受けるために確定申告をする場合には、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二十万円以下であつても、これを含めて申告しなければなりません。

この場合は、記帳をしなければならないことになつていますが、その以外の方でも記帳をしている場合は、その記帳を基として支内訳書に正しく記載して下さい。



消費税相談コーナーを開設

4月から導入されることが決まった消費税について、皆さんによく理解していただきため次のとおり説明会を開催します。
日時 / 2月22日・23日、午前9時～午後4時
場所 / 役場税務課

担当者 / 税務署職員 2人

県・町民税の相談所を開設

所得税の確定申告と同様、二月十六日から県民税・町民税の申告が始まります。申告期限は三月十五日、町では、所得金額の計算方法や申告書の書き方などを正しく理解していただくために、町内各所で次のとおり申告相談所を開設します。申告しなければならない人で、申告書を提出されないと、所得証明等で困る場合があります。

申告しなければならない人

①給与所得者で源泉徴収されない人②給与所得者で給与以外の所得のある人(農業、商業、不動産、その他)③給与所得者で諸控除

除のある人(年末調整で保険、損失の控除をしなかつた人)④給与所得者以外で六十三年中に所得のあつた人

▼申告をしなくてもよい人

①給与所得で源泉徴収される人②所得税の確定申告をする人所得税の確定申告については関税務署(電話0575-122-2233)か役場税務課(電話53-2511内213)、県民税、町民税については役場税務課までお問い合わせ下さい。

県・町民税

申告相談の日程表

相談日	相談場所	該当地区
2月20日(月)	西柄井神社社務所	西柄井
2月21日(火)	下川辺公民館	下川辺
2月22日(水)	上川辺コミュニティセンター	上川辺・上石神
2月27日(月)	福島公民館	福島・下飯田
2月28日(火)	川辺海洋センター	比久見・下吉田下
3月1日(水)	下麻生消防詰所	下麻生・下吉田上
3月2日(木)	鹿塩公民館	鹿塩
3月3日(金)	川辺町役場(1階)	中川辺・下石神

(時間はいずれも午前9時から午後3時まで)

銀行一千円、住宅金融公庫一千万円の計二千万円とします。年末のローン残高が、例えば年間、対象額の限度額が二千万円という点では、これまでと変わりありません。

控除率が1%、適用期間が五年間、対象額の限度額が二千万円といふ点では、これまでと変わらない。

この制度は、ローンの年末残高の一一定額を税額控除の対象とするのですが、今回の改正では控除対象の範囲を拡大したばかり、家の増改築工事をした場合も控除が受けられるようになつたことが主なポイントです。

さて、今回の制度拡充の最大の柱は、税額控除の対象が大幅に拡大された点にあります。つまり、従来は住宅取得の年末ローン残高のうち、控除の対象となるのが民間ローンの全額と住宅金融公庫など公的ローンの半額だったのが、民間ローンに加えて、公的ローンも全額対象となりました。

この制度が適用されると、銀行一千円、住宅金融公庫一千万円の計二千万円とします。年末のローン残高が、例えば年間、対象額の限度額が二千万円といふ点では、これまでと変わらない。

この制度は、ローンの年末残高の一一定額を税額控除の対象とするのですが、今回の改正では控除対象の範囲を拡大したばかり、家の増改築工事をした場合も控除が受けられるようになつたことが主なポイントです。

控除額が二倍に

もう一つの重要な改正点としては、今回初めて増改築のローンにもこの制度が適用されることになりました。工事費が二百万円を超える、償還期間が十年以上という条件がありますが、書斎や子供たちの勉強部屋など手狭な家を広げる場合にも認められることになったわけです。

確定申告を忘れずに

ただ、六十三年一月一日以降に入居した人がこの制度の適用を受けるためには、家屋の登記簿の謄本、抄本や売買契約書、住民票の写しなど必要な書類を用意して、二月十六日から三月十五日までの期間内に確定申告する

ことをお忘れなく。



住宅取得促進税制の拡充

公的ローンも全額控除対象に

この場合、これまで控除対象額は銀行ローンの全額プラス住宅金融公庫ローンの半額ですか

一千五百万円。控除率1%で十五万円が還付されたわけです。

ところが、拡充後は住宅金融公庫ローンも全額が対象となります。

ですから、控除額は同じ計算で二十万円となり、五万円の得になります。

増改築にも適用

もう一つの重要な改正点としては、今回初めて増改築のローンにもこの制度が適用されることになりました。工事費が二百万円を超える、償還期間が十年以上という条件がありますが、書斎や子供たちの勉強部屋など手狭な家を広げる場合にも認められることになったわけです。

や子供たちの勉強部屋など手狭な家を広げる場合にも認められることになったわけです。

四キロ・カロリーの体重一キログラムあたりの消費カロリーが得られることになります。

日常生活の中に、運動することにより、運動不足を解消し、十分に“酸素”を体内にとり入れられます。

ただ、六十三年一月一日以降に入居した人がこの制度の適用を受けるためには、家屋の登記簿の謄本、抄本や売買契約書、住民票の写しなど必要な書類を用意して、二月十六日から三月十五日までの期間内に確定申告する

ことにより、運動不足を解消し、十分に“酸素”を体内にとり入れられます。

健康確保のための運動 ウォーキング・ジョギング

ースを探し、日によってコ

スを変えてみることも気分が変わり、三日坊主にならないで継続するためには効果的です。

慣れてきたら、徐々に時間や距離を延ばし、無理なく動き続けられるペースでセルフ・プログラムをつくれれば一人

のスピードで走れば二十分でウオーキングは、少し早めの毎分百メートルのスピードで歩けば、三十分で三キロ・カロリー、ジョギングで調子もく毎分二百メートルのスピードで走れば二十分で

や子供たちの勉強部屋など手狭な家を広げる場合にも認められることになったわけです。

や子供たちの勉強部屋など手狭な家を広げる場合にも認められることになったわけです。

無理にスピードを上げることには禁物、シューズは適正なものを選んで、あせらず継続しましょう。





かわべの子のくらし

あいさつ運動

思いやりのある

ことばづかいをしましょう。

★どんな小さなことでも、喜んでもらえるような、相手を思いやることばをかけるようにしましょう。

せいそう活動

お宮、公民館など

公共施設のそうじをしましょう

★地区子供会で、自分たちの地域を美しくする活動を考え、みんなで力を合わせて、実践をしましょう。

3月19日(日曜日)は家庭の日

家族みんなで、祖先の墓そうじや、墓参りをしましょう。

我が家現在があるのは、祖先のおかげです。

我が家祖先について、家族で話し合いましょう。

桃の節句

★13日(月) / 中学校卒業式

★21日(火) / 春分の日

★24日(金) / 小学校卒業式

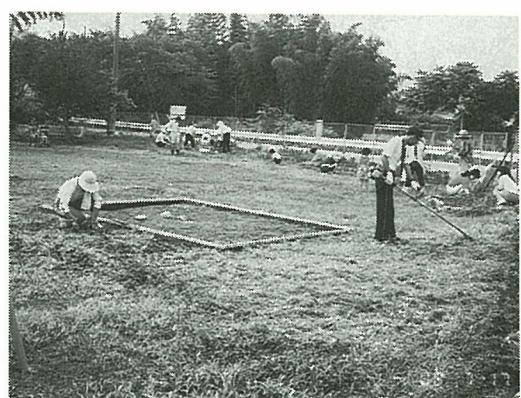
★25日(土) / 終了式

わたしは、こんどからは、知らない人にでも
あいさつをしようと思って、その日の下校の時
に、工場につとめているおばさんに、「さような
ら」とこえをかけると、おばさんも、「お帰り」
と、返してくれました。その時も気持ちよくなり
ました。
これからは、あいさつは大切なことで、返して
くれなくとも続けていこうと思います。

この前、学校で挨拶あいさつ運動を、一週間
やりました。
学校の校門までいくと、毎朝集会委員の人た
ちが並んで、「おはようございます。」「といつてく
れるので、わたしも、「おはようございます。」と
返しました。すると、とっても気持ちよくなり
ました。

あいさつを忘れずに

川辺東小四年寺田好見



あいさつ標語 あいさつのできる子できた子元気な子 東小2年赤坂実香

==川辺町道徳教育推進協議会==

清掃標語 そうじする心も一緒にピッカピカ 東小6年渡辺愛

==連携推進部==

今、製作中の文集には、お子供たちのために役立つもの
を購入していきたいと思います。
かあさん方はもちろん、おとうさん、おじいさん、おばあさん、先生方の声も掲載します。
いろいろな人の声から親子の
楽しい語らいまで、幅広い内
容になる予定です。親の方、
親子のかかわり方など参
加していただけたら幸いです。

川辺東小母親委員会では、
今「かあさん」文集を製作中
です。
六、七月には看板作りをし
ました。通学分団それぞれの
集合場所に、あいさつ標語を
書いて設置しました。
六月と十二月には「かあさ
ん新聞」を発行し、行事の報
告や案内、活動の状況を掲載
しました。十月七日の道徳教
育発表会では、母親委員会の
活動の中から、東小として看
板作りをテーマに発表しました。
不用品交換バザーも開催し
ました。皆さん協力により
多額の利益を得ることができます。
書いて設置しました。

「かあさん」文集



誓いも新たに成人式

中央公民館で

成人式を迎えて

A black and white portrait photograph of Kato Motozo, a man with dark hair, wearing a suit and tie.

今年の成人者は、昭和四十三年四月一日までに生まれた人で、町外在住者を含めた今回の対象者は百五十一人。当日は百三十八人が出席し、二十歳の実感を満喫していました。

た。

このあと、町民憲章の朗読、
キャンドルサービス、記念撮影
レセプションが行われました。

桜井章雅、桜井幸浩、佐伯秀明、
紅谷哲央、桑田英二、桜井恵利
子、加藤万紀子、大脇伸子

一月七日、昭和時代に終わ
りを告げ、新時代“平成”とな
なった。この平成時代を我ら
はどんなふうに生きていけばよ
いのだろう。こんな思いと
静けさの中で成人式を迎える
ことになった。

記念すべき平成元年に成人式を迎えることができ、今、大きな喜びと同時に、社会人としての自覚を持ち、責任ある行動をとらなければならぬと痛感しています。

成人とは、心身の発育を終え、大人としての第一歩を踏み出すことである。これから何らかの障害、挫折があるだろう。そんなときにも我に誇りを持ち、信頼できる友と一緒に

昭和の時代を担い、築きあげてきた諸先輩方のように、社会の鎖の一つとなり、平成という新たな時代を平和で過ごしやすい世の中にしていきたいと思います。

卷之三

井戸敦子 橫田美穂子
【下飯田】 山田克哉、

【福島】長谷川淳、
山田幸人、田中嘉代子

比久見 井戸秀幸
神田秀俊、小栗恵子、馬場芽舍

【下吉田】 谷川晃、十
向井知英子、田口敦子

里美
【下麻生】前島信彦、
佐伯拓哉、伊藤智哉、

緒に堅忍不抜、相互扶助で生きてゆきたい。そして、人生を有終の美で飾れるように努

* まちかど

桜井さんが総合優勝

第8回新春囲碁大会

中央公民館で行われた新春囲碁大会



中央公民館囲碁サークル主催の第八回新春囲碁大会が、一月十五日と十八日に中央公民館で行われました。

大会には同サークルの会員ら約三十人が参加しました。有段者からクラス別にA、B、Cに分かれてリーグ戦を行い、その後、各組の優勝者三人でトーナメント戦を行いました。この結果、総合優勝は桜井公さん(石川辺)でした。各組別の成績は次のとおり(敬称略)

【A組】▽優勝=桜井公五段

△二位=水野純雄六段△三位=長瀬晃五段△四位=平野潤二五段△五位=大脇治三段

【B組】▽優勝=岩井正裕一

△二位=岩井正裕二

△三位=岩井正裕三

△四位=岩井正裕四

△五位=岩井正裕五

△六位=岩井正裕六

△七位=岩井正裕七

△八位=岩井正裕八

△九位=岩井正裕九

△十位=岩井正裕十

△十一位=岩井正裕十一

△十二位=岩井正裕十二

△十三位=岩井正裕十三

△十四位=岩井正裕十四

△十五位=岩井正裕十五

△十六位=岩井正裕十六

△十七位=岩井正裕十七

△十八位=岩井正裕十八

△十九位=岩井正裕十九

△二十位=岩井正裕二十

△二十一位=岩井正裕二十一

△二十二位=岩井正裕二十二

△二十三位=岩井正裕二十三

△二十四位=岩井正裕二十四

△二十五位=岩井正裕二十五

△二十六位=岩井正裕二十六

△二十七位=岩井正裕二十七

△二十八位=岩井正裕二十八

△二十九位=岩井正裕二十九

△三十位=岩井正裕三十

△三十一位=岩井正裕三十一

△三十二位=岩井正裕三十二

△三十三位=岩井正裕三十三

△三十四位=岩井正裕三十四

△三十五位=岩井正裕三十五

△三十六位=岩井正裕三十六

△三十七位=岩井正裕三十七

△三十八位=岩井正裕三十八

△三十九位=岩井正裕三十九

△四十位=岩井正裕四十

△四十一位=岩井正裕四十一

△四十二位=岩井正裕四十二

△四十三位=岩井正裕四十三

△四十四位=岩井正裕四十四

△四十五位=岩井正裕四十五

△四十六位=岩井正裕四十六

△四十七位=岩井正裕四十七

△四十八位=岩井正裕四十八

△四十九位=岩井正裕四十九

△五十位=岩井正裕五十

△五一位=岩井正裕五十一

△五二位=岩井正裕五十二

△五三位=岩井正裕五十三

△五四位=岩井正裕五十四

△五五位=岩井正裕五十五

△五六位=岩井正裕五十六

△五七位=岩井正裕五十七

△五八位=岩井正裕五十八

△五九位=岩井正裕五十九

△六十位=岩井正裕六十

△六十一位=岩井正裕六十一

△六十一位=岩井正裕六十二

△六十一位=岩井正裕六十三

△六十一位=岩井正裕六十四

△六十一位=岩井正裕六十五

△六十一位=岩井正裕六十六

△六十一位=岩井正裕六十七

△六十一位=岩井正裕六十八

△六十一位=岩井正裕六十九

△六十一位=岩井正裕七十

△六十一位=岩井正裕七十一

△六十一位=岩井正裕七十二

△六十一位=岩井正裕七十三

△六十一位=岩井正裕七十四

△六十一位=岩井正裕七十五

△六十一位=岩井正裕七十六

△六十一位=岩井正裕七十七

△六十一位=岩井正裕七十八

△六十一位=岩井正裕七十九

△六十一位=岩井正裕八十

△六十一位=岩井正裕八十一

△六十一位=岩井正裕八十二

△六十一位=岩井正裕八十三

△六十一位=岩井正裕八十四

△六十一位=岩井正裕八十五

△六十一位=岩井正裕八十六

△六十一位=岩井正裕八十七

△六十一位=岩井正裕八十八

△六十一位=岩井正裕八十九

△六十一位=岩井正裕九十

△六十一位=岩井正裕九十一

△六十一位=岩井正裕九十二

△六十一位=岩井正裕九十三

△六十一位=岩井正裕九十四

△六十一位=岩井正裕九十五

△六十一位=岩井正裕九十六

△六十一位=岩井正裕九十七

△六十一位=岩井正裕九十八

△六十一位=岩井正裕九十九

△六十一位=岩井正裕一百

△六十一位=岩井正裕一百一

△六十一位=岩井正裕一百二

△六十一位=岩井正裕一百三

△六十一位=岩井正裕一百四

△六十一位=岩井正裕一百五

△六十一位=岩井正裕一百六

△六十一位=岩井正裕一百七

△六十一位=岩井正裕一百八

△六十一位=岩井正裕一百九

△六十一位=岩井正裕一百十

△六十一位=岩井正裕一百一十一

△六十一位=岩井正裕一百二十二

△六十一位=岩井正裕一百三十三

△六十一位=岩井正裕一百四十四

△六十一位=岩井正裕一百五十五

△六十一位=岩井正裕一百六十六

△六十一位=岩井正裕一百七十七

△六十一位=岩井正裕一百八十八

△六十一位=岩井正裕一百九十九

△六十一位=岩井正裕二百

△六十一位=岩井正裕二百一

△六十一位=岩井正裕二百二

△六十一位=岩井正裕二百三

△六十一位=岩井正裕二百四

△六十一位=岩井正裕二百五

△六十一位=岩井正裕二百六

△六十一位=岩井正裕二百七

△六十一位=岩井正裕二百八

△六十一位=岩井正裕二百九

△六十一位=岩井正裕二百十

△六十一位=岩井正裕二百十一

△六十一位=岩井正裕二百十二

△六十一位=岩井正裕二百十三

△六十一位=岩井正裕二百十四

△六十一位=岩井正裕二百十五

△六十一位=岩井正裕二百十六

△六十一位=岩井正裕二百十七

△六十一位=岩井正裕二百十八

△六十一位=岩井正裕二百十九

△六十一位=岩井正裕二百二十

△六十一位=岩井正裕二百二十一

△六十一位=岩井正裕二百二十二

△六十一位=岩井正裕二百二十三

△六十一位=岩井正裕二百二十四

△六十一位=岩井正裕二百二十五

△六十一位=岩井正裕二百六

△六十一位=岩井正裕二百七

△六十一位=岩井正裕二百八

△六十一位=岩井正裕二百九

△六十一位=岩井正裕二百十

△六十一位=岩井正裕二百十一

△六十一位=岩井正裕二百十二

△六十一位=岩井正裕二百十三

△六十一位=岩井正裕二百十四

△六十一位=岩井正裕二百十五

△六十一位=岩井正裕二百十六

△六十一位=岩井正裕二百十七

△六十一位=岩井正裕二百十八

△六十一位=岩井正裕二百十九

△六十一位=岩井正裕二百二十

△六十一位=岩井正裕二百二十一

△六十一位=岩井正裕二百二十二

△六十一位=岩井正裕二百二十三

△六十一位=岩井正裕二百二十四

△六十一位=岩井正裕二百二十五

△六十一位=岩井正裕二百二十六

△六十一位=岩井正裕二百二十七

△六十一位=岩井正裕二百二十八

△六十一位=岩井正裕二百二十九

△六十一位=岩井正裕二百三十

△六十一位=岩井正裕二百三十一

△六十一位=岩井正裕二百三十二

△六十一位=岩井正裕二百三十三

△六十一位=岩井正裕二百三十四

△六十一位=岩井正裕二百三十五

△六十一位=岩井正裕二百三十六

△六十一位=岩井正裕二百三十七

△六十一位=岩井正裕二百三十八

△六十一位=岩井正裕二百三十九

△六十一位=岩井正裕二百四十

△六十一位=岩井正裕二百四十一

△六十一位=岩井正裕二百四十二

△六十一位=岩井正裕二百四十三

△六十一位=岩井正裕二百四十四

△六十一位=岩井正裕二百四十五

△六十一位=岩井正裕二百四十六

△六十一位=岩井正裕二百四十七

△六十一位=岩井正裕二百四十八

△六十一位=岩井正裕二百四十九

△六十一位=岩井正裕二百五十

△六十一位=岩井正裕二百五十一

△六十一位=岩井正裕二百五十二

△六十一位=岩井正裕二百五十三

△六十一位=岩井正裕二百五十四

△六十一位=岩井正裕二百五十五

△六十一位=岩井正裕二百五十六

△六十一位=岩井正裕二百五十七

△六十一位=岩井正裕二百五十八

△六十一位=岩井正裕二百五十九

△六十一位=岩井正裕二百六十

△六十一位=岩井正裕二百六十一

△六十一位=岩井正裕二百六十二

△六十一位=岩井正裕二百六十三

△六十一位=岩井正裕二百六十四

△六十一位=岩井正裕二百六十五

△六十一位=岩井正裕二百六十六

△六十一位=岩井正裕二百六十七

△六十一位=岩井正裕二百六十八

△六十一位=岩井正裕二百六十九

△六十一位=岩井正裕二百七十

△六十一位=岩井正裕二百八十一

△六十一位=岩井正裕二百八十二

△六十一位=岩井正裕二百八十三

△六十一位=岩井正裕二百八十四

△六十一位=岩井正裕二百八十五

△六十一位=岩井正裕二百八十六

△六十一位=岩井正裕二百八十七

△六十一位=岩井正裕二百八十八

△六十一位=岩井正裕二百八十九

△六十一位=岩井正裕二百九〇

△六十一位=岩井正裕二百九一

△六十一位=岩井正裕二百九二

△六十一位=岩井正裕二百九三

△六十一位=岩井正裕二百九四

△六十一位=岩井正裕二百九五

△六十一位=岩井正裕二百九六

△六十一位=岩井正裕二百九七

△六十一位=岩井正裕二百九八

△六十一位=岩井正裕二百九九

△六十一位=岩井正裕三百

△六十一位=岩井正裕三百一

△六十一位=岩井正裕三百二

△六十一位=岩井正裕三百三

△六十一位=岩井正裕三百四

△六十一位=岩井正裕三百五

△六十一位=岩井正裕三百六

△六十一位=岩井正裕三百七

△六十一位=岩井正裕三百八

△六十一位=岩井正裕三百九

△六十一位=岩井正裕三百十

△六十一位=岩井正裕三百十一

△六十一位=岩井正裕三百十二

△六十一位=岩井正裕三百十三

△六十一位=岩井正裕三百十四

△六十一位=岩井正裕三百十五

△六十一位=岩井正裕三百十六

△六十一位=岩井正裕三百十七

△六十一位=岩井正裕三百十八

△六十一位=岩井正裕三百十九

△六十一位=岩井正裕三百二十

△六十一位=岩井正裕三百二十一

△六十一位=岩井正裕三百二十二

△六十一位=岩井正裕三百二十三

△六十一位=岩井正裕三百二十四

△六十一位=岩井正裕三百二十五

△六十一位=岩井正裕三百二十六

△六十一位=岩井正裕三百二十七

△六十一位=岩井正裕三百二十八

元気です



山田哲也くん(1歳11か月)=下吉田
(文明さん・恵美子さん 二男)

一月二十一日に中央公民館で第六回加茂郡ことばを育てる親の会大会が開かれ、青山・新藤両県議らの来賓を迎えて、地元遠藤町長、可茂福祉事務所の松尾福祉課長があいさつ。大会には、郡内各町村から言葉の発達が遅れている子を持つ親たち約百二十人が集まりました。

この大会は、親の会が一体となつて力を合わせ、子供たちにとつてより良い方向を探る一助になればと開かれているもので、会員の中から一人が体験発表、その後、子供の年齢・状況に応じて三つ(乳幼児の問題、就学児・学齢児の問題、重い子の問



▶中央公民館で開かれた加茂郡ことばを育てる親の会

題)の分科会に分かれ、現状を訴えたり、ほかの会員の悩みや要望に耳を傾けていました。ほとんどの会員が子供の将来を案じ、社会の中で自立していくことを願いつつ、また、教室は子供の指導だけでなく、親同士の心の交流の場でもあるようです。分科会の報告があった後、柚木岐阜大学教授の講演(演題「子供に対する親の接し方」)があり、閉会しました。

親同士の交流深める

学習会や講演会など——町中央公民館

加茂郡ことばを育てる親の会

じ、社会の中で自立していけることを願いつつ、また、教室は子供の指導だけでなく、親同士の心の交流の場でもあるようですが。分科会の報告があった後、柚木岐阜大学教授の講演(演題「子供に対する親の接し方」)があり、閉会しました。

一月二十四日に川辺中で、体力の増進と精神面の充実を図ることを目的に校内マラソン大会が行われました。少々風は強かつもののカラリと晴れあがり絶好のコンディションとなりました。

男子は三キロ、女子は二・三

キロで、今年から中学校周辺のコースに変更になり、学校の周

囲を一周ずつ走りました。その

結果、次の皆さんのが上位入賞と

なりました。(敬称略)

【一年男子】①馬場宗光②長

谷和志③野中祐紀

【一年女子】①荒武円香②馬

場祐貴子③都真貴子

【二年男子】①桐谷力②鈴木

雅貴③加藤重信

【二年女子】①岩田祥子②加

藤和美③西垣八恵

【三年男子】①加藤晋作②宮

本政一③横関雅生

【三年女子】①奥田玲奈②牧

田享了③佐伯理恵

寒さをふきとばす

川辺中で校内マラソン大会



シジミとシメジのなべ

【材料(四人分)】シジミ二百グラム、カキ三百グラム、白身魚二切、

鶏肉三百グラム、春菊一束、ネギ二本、シメジ一袋、サトイモ小四個、豆腐半丁、みそ二分の一カップ、酒一分の二カップ、砂糖大さじ二分の一、しお大さじ二分の一



キはほかのものが軟らかくなつたら入れる。

少し手がかけられるような

時は、鶏ひき肉で団子を作つて入れるのもよいでしょう。

【作り方】①シジミはよく洗つてどろを吐かせ、どなべ

を入れるのもよいでしょう。

少しほのかのものが軟らかくなつたら入れる。

少し手がかけられるような

時は、鶏ひき肉で団子を作つて入れるのもよいでしょう。

少しほのかのものが軟らかくなつたら

